




生活科学学習指導略案

2年4組 26名 指導者 松村 千賀

1 単元 おいしいやさいになあれ

2 指導計画（総時間 11時間＋常時活動）

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
願いをもつ活動	<p>1 育てる野菜を決め、育てる目的をカードに記入する。 2 野菜を購入し、苗の様子を観察する。 3 育てる野菜の苗を植える。 【関：育てたい野菜を自分で決め、野菜の育て方を尋ねたり調べたりしながら、親しみをもって大切に育てようとしている。】</p> <p>育てる時期、鉢植えという環境を考えて、育てたい野菜を自分で選択させることや育てる目的を明確にすることで、野菜への愛着をもたせるようにする。</p> 	1 2 1 (6)
願いを現にする活動	<p>2 野菜の成長の様子を観察し、必要な世話をする。 【思：育てている野菜どうしを比較して差異点や共通点を見つけたり、世話の仕方を工夫したりすることができる。】</p> <p>自分の育てたい野菜を育てることで、野菜の種類によって、葉の形や花の色などが違うことに気付かせるようにする。また、毎朝、野菜の様子を観察簿に記入させることで、野菜の状態に合った世話を考えさせるようにする。</p> 	4
活動を振り返り新たな願いをもつ活動	<p>3 自分で育てた野菜を収穫し、栽培活動を振り返る。 【気：野菜を育てながら、それらは生命をもち、成長していることや自分で育てる楽しさに気付いている。】</p> <p>育てている野菜になりきって野菜の気持ちを考えることで、野菜の命を大切にしたり、世話を頑張っている自分自身のよさを自覚させたりするようにする。</p> 	3

3 本時（4／11）

(1) 目標

野菜の苗の植え方や育て方を知るとともに、友達と協力しながら自分の育てる野菜の苗を植えている。

(2) 評価規準と評価の視点

野菜の苗の植え方や育て方を知り、友達と協力しながら野菜の苗を植えている。

【活動や体験についての思考・表現】

《評価の視点》

- あさがおの種を蒔いたときと似ているところがあるな。 ○ 重たいから一緒に運ぼう。
- これ、貸してね。 ○ ありがとう。

(3) 指導に当たって

子どもたちは、1年時に、あさがおやマリーゴールド、ノースポールやチューリップなどの花を栽培してきた。

また、本単元では、前時までに子どもたちは、夏に収穫できる野菜について話し合い、育てたい野菜を決め、野菜の苗を購入しに出かけている。野菜を育てる目的も確認し合っているため、「早く苗を植えたい。」「収穫が楽しみだ。」という強い思いをもっている。中には、野菜の育て方について、家の人に聞いたり、本やインターネットで調べたりしている子どももいる。

そこで、本時では、1年生での栽培活動を生かしながら、自分の野菜の成長に願いを込めて、友達と協力しながら苗植えを楽しく行っていきたい。

「願いをもつ活動」では、野菜の苗の特徴を示す言葉の入ったクイズを出すことで、自分の苗の特徴に目を向けさせたり、自分の苗への気付きの高まりに気付かせたりする。そのことから、苗への愛着を深め、早く植えたいという思いを高めるようにする。

「願いを実現していく活動」では、1年生の栽培活動の経験を想起できるように写真などを掲示しておくようにし、これまでの経験を生かせるようにする。また、用具の扱い方や汚れた手で目などを触らないといった安全面にも十分留意し活動させるようにする。また、あえて用具を人数分揃えないことで、順番を守ったり、仲良く使ったりする場を設定するようにする。さらに、協力し合って活動している場面や片付けを一生懸命行っている場面を取り上げて称賛し、自己効力感を味わわせるようにする。

「活動を振り返り、新たな願いをもつ活動」では、大きく育ったときや育てる目的を思い起こさせ、世話を頑張っていきたいという意欲をもたせるようにするとともに、自分の力で苗を植えた喜びや友達と助け合った嬉しさを認め合うようにし、これからの生活への意欲も高めさせていくようにする。

時	主な学習活動と教師の指導・評価
7 願いをもつ活動	1 野菜のクイズをする。 ・つるがついているからきゅうりだよ。 ・葉っぱがむらさきだからナスだよ。 2 本時のめあてをつかむ。 じぶんのやさいのなえをうえよう。
32 願いを実現する活動	3 植え方を話し合う。 ・土の下にボラ土を置くよ。 ・あさがおを植えたときと同じようにふかふかのおふとんにしてあげよう。 ・今度は、苗だから大きな穴をあけないといけないね。 ・根っこは、水を吸い上げる場所だからちぎれないようにしよう。 ・最後に水もあげた方がいいよね。 4 協力して苗を植える。 ・もう少し、土を入れた方がいいよ。 ・終わったから、手伝おうか。 ・これ貸してね。 ・ありがとう。 ・水も掛けてあげなくちゃね。 5 協力して片付けをする。 ・一緒に運ぼう。 ・きれいに洗って片付けよう。 ・並べるときれいだね。
6 活動を振り返り新たな願いをもつ活動	6 活動を振り返り、苗を植えてみて気付いたことやこれからの世話について話し合う。 ・ミニトマトは、背が高いので、深く穴を掘りました。 ・きゅうりは、つるがでてくるから、あさがおのように、支柱を立てたらいいと思います。 ・水掛けや声掛けを忘れないようにしたいです。 ・土を入れるとき、〇〇さんに手伝ってもらって嬉しかったです。 ・鉢に植えて嬉しかったです。 7 今後の学習について話し合う。 ・1年生のときにもあさがおに名前を付けて大事にしたよ。名前のプレートを作ろう。 ・野菜が大きくなっていく様子をまとめていこう。

自分の苗への気付きの高まりに気付かせ、苗への思いをより高めさせ、めあてへつなげていくようにする。

1年生の時の栽培活動の経験を想起できるように、活動の写真を掲示しておくようにする。

土や移植ごてなど用具の扱い方についても確認し、安全面に留意するようにするとともに、限られた用具を仲良く使うことにも触れるようにする。

※ 野菜の植え方や育て方を知り、友達と協力しながら野菜の苗を植えている。(つぶやき、行動)

- どんどん活動を進めている子どもには、協力が必要な友達に言葉を掛けながら活動を進めていけるようにする。
- 活動に戸惑っている子どもには、板書を確認したり、友達に聞いたりさせながら活動を進めていけるようにする。

友だちとの関わりが一層広がるように、助け合っているグループを大いに称賛する。

1年生の時に花が咲いたときのことを想起させたり、野菜栽培の目的を確認したりしながら、世話を頑張っていきたいという思いを高めるようにする。

自分の力で植えることができた喜びを味わわせたり、友達から協力してもらったことを発表させたりすることで、活動を認め合うようにする。

名前を付けることで、苗への思いをより一層高めさせたり、鉢を飾り付けて栽培活動を楽しんだりしていくために、名前プレートを作る活動をしていくことを話し合うようにする。

